

1 経営理念

◎子どもと教師がともに生き生きと楽しく活動する学校
◎家庭・地域と手を携えて進む学校

◎子どもの豊かな心をはぐくむ学校
◎心身ともにうるおう整備された安全な学校

◎全組織が有効に機能する学校
◎学校事故・教職員不祥事のない学校をめざす

2 経営目標・教育目標・評価・達成状況

※矢印は昨年度との比較

中期経営目標	短期経営目標	評 価 項 目	教職員	達成状況
めあてをもち、筋道を立てて考えながら学習する子どもの育成	学習の基礎となる力をつける。	① 多くの本に親しませ、読書への関心を高める。	↑ 2.83	・学力向上が最重要課題の一つであることを、教職員全員で共有し、危機感をもって日々の授業を充実させたことが、好結果につながった。 ・「主体的・対話的で深い学び」に向け、教員一人一人が授業研究会を積極的に進めた。
		② 家庭学習を通して、漢字力・計算力をつける。	↑ 3.33	
		③ 学年に応じた家庭学習のやり方・内容を示し、学年×10分以上できるようにする。	↑ 3.17	
	学力向上への授業改善に取り組む。	④ わかりやすい授業目標（めあて）を立て、達成状況の評価を次時の学習に生かす。	↓ 2.67	
		⑤ 個人差に応じて学習の進め方・手だてを工夫する。	↓ 2.83	
		⑥ 共同研究を推進し、一人1回以上の研究授業を実施する。学年代表授業（全体授業）を実施し、学年・ブロックを軸に授業研究をすすめる。	↑ 3.67	
		⑦ 学力テストの正答率（国語4観点、算数4観点）を全国平均より上回る。（学力テスト実施時）	↑ 3.50	
		⑧ 須賀川スタンダードカリキュラムを活用した小・中一貫教育の推進に努める。	↑ 3.00	
友だちのよさを認め、ともに力を合わせて行動する子どもの育成	温かい人間関係を重視した学級集団づくりをする。	① 学習や学習以外の時間で、友だちと触れ合う場を多く作る。	↑ 3.50	・いじめ防止の観点からも温かな学級集団作りに努めた。その結果、互いの良さに気づき、認め合える雰囲気が増えてきた。 ・「三小っ子七つのちかい」をもとに、繰り返し生徒指導を進めてきた。
		② 自分の良いところ・友だちの良いところに気づかせるとともに、子どもを認める機会を多くする。	↑ 3.00	
	豊かな体験により思いやりの心を育成する。	③ 道徳の時間を中心に教育活動全体で、思いやりの心や善悪の判断力を育てる。	↓ 2.83	
		④ 毎日の生活の中での手伝いや奉仕活動、人のためになる活動を奨励する。	↓ 3.00	
		⑤ 清掃活動にしっかり取り組み、きれいな学校にする。	↓ 3.00	
	生活指導を充実し、節度ある生活態度を身につけさせる。	⑥ 「三小っ子七つのちかい」をもとに特色ある生徒指導の推進に努める。	↑ 3.00	
		⑦ 「三小よい子の生活」を指針に、約束を守って生活できるようにする。	↓ 2.83	
		⑧ 休みがちな子どもに積極的ににはたらきかけ不登校をなくすとともに不登校の兆しの発見・早期指導に努める。	↓ 2.83	
		⑨ 情報交換を密にした小・中一貫教育の推進に努める。	↑ 2.83	
耐えぬく心と体力のある体をつくる子どもの育成	走力を中心とした体力を向上させる。	① 走力を高めるため、体育の授業において3～5分でできる継続的な活動を取り入れる。	↑ 3.17	・体育の時間は「運動身体づくりプログラム」を継続的に取り組んだことで、体力テストでは改善が見られた。 ・低学年を中心に栄養技師と担任が協力し合って食育指導を行った。
		② 体育の時間は、学習カードを活用してめあてを持って運動できるようにする。	↓ 2.83	
		③ 休み時間の運動を奨励し、体力の向上に結びつける。	↑ 2.83	
	健康な生活の習慣づくりをする。	④ 保健指導計画をもとに、季節や学級の実態に応じて保健指導を行う。（手洗い・うがい等）	↑ 3.00	
		⑤ 家庭と連携して「早寝早起き朝ごはん」を習慣化させる。	↓ 2.83	
		⑥ 給食の意義を理解させ、好き嫌いをなく食べさせるようにする。	↑ 3.17	
		⑦ 小・中学校連携を強化し、健康教育の充実に努める。（感染拡大防止など）	↓ 2.67	
信頼される学校づくりの推進	開かれた学校を目指す。	① 学校情報を学校通信やHPを利用して保護者や地域に伝える。	↑ 3.17	・ホームページでの発信を積極的に行った。今後も一斉メールと連動させて。情報発信に努めたい。 ・三中との合同・交流事業を昨年以上に推進することができた。
		② 外部講師を積極的に活用するとともに、学校外へ出かけて行く活動を多く取り入れる。	↑ 2.95	
		③ 保護者、児童を対象としたアンケートを年1回実施し、学校評価を行う。結果についても公表する。	↓ 2.83	
	安全・安心な学校を目指す。	④ 安全教育計画に基づいて、毎月1回の安全点検・年2回の交通安全教室・年4回の避難訓練を行う。	↓ 3.17	
		⑤ 児童の病気やけがに対しては、『疾病事故発生時の対応マニュアル』に基づいて速やかに対応する。	↓ 3.00	
		⑥ 服務倫理委員会を機能させ、教職員の不祥事故を発生させない。	↑ 3.17	
	小・中学校連携の推進を目指す。	⑦ 9年間を見通した小中一貫教育の実現に努める。	↑ 2.83	

昨年平均2.92 今年度平均3.01

評価項目評価基準表	4 目標を上回って達成した	3 目標どおりに達成した	2 目標を少し下回った	1 目標を大きく下回った
-----------	---------------	--------------	-------------	--------------